

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
理学療法演習Ⅱ-2		必修	1	2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
関根 聡美 他	D313	s.arakawa	火曜日 10:40~12:10		
授業の目的・概要	理学療法士に必要な各種検査・測定法についての知識を定着させ、患者に対する適切な検査・測定法の選択、検査・測定法の実施、結果の取りまとめ、仮説立案に至るまでの一連の流れを実施できる技能を身につける。本演習では、理学療法演習Ⅱ-1 で学習した一連の検査・測定の流れから疾患を想定した応用的実技を行い、少数の演習班に分かれて検査・測定技術の習熟、仮説立案能力の向上を図る。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・レポート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	解剖学、生理学、運動学で学んだ基礎医学分野の知識が必要となるので、復習しておくことが望ましい。				
教科書	理学療法評価学 改訂第6版/著:松澤正、江口勝彦/金原出版、ベッドサイドの神経の診かた 第18版/著:田崎義昭、斉藤佳雄/南山堂、新徒手筋力検査法 第10版/著:Hislop HJ 他/協同医書出版社				
参考書	特になし				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	患者に対して適切な検査・測定法を選択できる。			PT (1)、(4)、(5)	
②	検査・測定法に対する知識を有し、確実に実施できる。			PT (1)、(4)、(5)	
③	検査・測定によって得た結果の解釈を行なえる。			PT (1)、(4)、(5)	
④	グループ活動に積極的に参加し、意見を述べる事が出来る。			PT (4)、(5)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	検査・測定法の概要: 症例に適した検査・測定項目、結果の解釈について学ぶ。 担当: 関根 (全体)	講義・実技	検査・測定法の概要について復習を行う。	1	
2	ICF の確認と演習を行う。 担当: ※各担当教員 (グループごと)	講義・実技	ICF の実施方法について復習を行う。	1	
3	形態計測の確認と実技練習を行なう。 担当: ※各担当教員 (グループごと)	講義・実技	形態計測の実施方法について復習を行う。	1	
4	関節可動域測定 (上肢) の確認と実技練習を行なう。 担当: ※各担当教員 (グループごと)	講義・実技	関節可動域測定 (上肢) の実施方法について復習を行う。	1	
5	関節可動域測定 (下肢) の知識の確認と実技練習を行なう。担当: ※各担当教員 (グループごと)	講義・実技	関節可動域測定 (下肢) の実施方法について復習を行う。	1	
6	筋力測定 (上肢) の知識の確認と実技練習を行なう。 担当: ※各担当教員 (グループごと)	講義・実技	筋力検査 (上肢) の実施方法について復習を行う。	1	
7	筋力測定 (下肢) の知識の確認と実技練習を行なう。 担当: ※各担当教員 (グループごと)	講義・実技	筋力検査 (下肢) の実施方法について復習を行う。	1	
8	脳血管障害に対して評価の知識の確認と実技練習を行なう。 担当: ※各担当教員 (グループごと)	講義・実技	脳血管障害の評価の実施方法について復習を行う。	1	
9	協調運動障害・バランス能力の知識の確認と実技練習を行なう。 担当: ※各担当教員 (グループごと)	講義・実技	協調運動障害の評価の実施方法について復習を行う。	1	
10	疼痛・感覚検査の知識の確認と実技練習を行なう。 担当: ※各担当教員 (グループごと)	講義・実技	疼痛・感覚検査痛みの評価の実施方法について復習を行う。	1	
11	日常生活動作 (ADL)・高次脳機能検査の知識の確認と実技練習を行う。担当: ※各担当教員 (グループごと)	講義・実技	ADL・高次脳機能検査の実施方法について復習を行う。	1	
12	歩行機能評価の知識の確認と実技練習を行う。 担当: ※各担当教員 (グループごと)	講義・実技	歩行機能評価の実施方法について復習を行う。	1	
13	整形外科検査の知識の確認と実技練習を行なう。 担当: ※各担当教員 (グループごと)	講義・実技	整形外科検査の実施方法について復習を行う。	1	
14	中枢神経疾患に対しての評価の知識の確認と実技練習を行なう。 担当: ※各担当教員 (グループごと)	講義・実技	中枢神経疾患の実施方法について復習を行う。	1	
15	検査・測定法についてのまとめ 担当: 関根 (全体)	講義・実技		1	
試	定期試験				

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		100	0	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	50	0	0	0	0	50
	思考・推論・創造する力	50	0	0	0	0	50
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	学期末に定期試験を実施して評価する。試験内容は、授業中に取り組んだ課題プリントの内容に基づく応用問題を出題し、理解度を問う。				試験結果に関する講評と解説を行う
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	高村 浩司、三科 貴博、粕山 達也、関口 賢人、駒形 純也、坂本 祐太、遠藤 悠介、大塚 篤也、甘利 貴志、新任教員						
教員の実務経験	医療機関、介護施設での実務経験あり						
実践的授業の内容	病院や介護施設での理学療法士の実務経験を基に、正確な検査・測定技術を身に付けられるように指導を行う。*実技を実施する際は、動きやすい格好で参加すること。						
そ の 他	全て対面授業で実施する予定である。大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を厳守すること。問題がある場合は面接授業の参加は認めない。 今後のコロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更がある可能性がある。						